

## 常勤理事の業績評価

業 績	備 考	評 価
<p><b>1. 各試験委員会、部会及び小委員会の効率的な運営支援と問題作成上の正確性の確保並びに合否判定への参画</b> 電気工作物検査官としての知識を活用し、問題の正確性確保、合否判定に寄与している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・23年度実績 電気主任技術者 委員会 3回、部会13回（内合同部会 2回）、小委員会26回、分科会21回 電気工事士 委員会 4回、小委員会 6回</li> <li>・24年度実績 電気主任技術者 委員会 3回、部会13回（内合同部会 2回）、小委員会26回、分科会20回 電気工事士 委員会 4回、小委員会 6回</li> </ul>		○
<p><b>2. 全国一律、公平な試験実施環境の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員及び委託・外注先を指導監督し国家試験としての全国一律、公平な試験実施環境の確保に努めている。</li> <li>・強風等天候の乱れによる交通機関の遅延から生じる遅刻者に対し、試験の円滑な対応と代替措置等の適切な対応を行った。</li> <li>・不合格者からの答案の採点内容について開示請求を受けたが、採点内容に関する問い合わせは一切応じない適切な対応を行った。</li> </ul>		○
<p><b>3. 免状交付事務の正確性の確保</b> 電気事業法の規定に基づく主任技術者の免状交付の正確性を確保するため、免状交付事務を総括している。</p>	23年度の電気主任技術者試験合格者の免状交付で印字ミスがあり、この再発行の対応を迅速、的確に行った。	○
<p><b>4. 調査・研究事業及び電気技術者資質向上事業の総括</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気技術者実態調査の方針・計画の立案・指導を行っている。</li> <li>・電気工事士技能試験制度改革（将来の試験常設化）に向けて、CBT（パソコンを使った試験方式）化の可能性について、調査及び検証を行っている。</li> <li>・電気技術者資質向上を目的とした電気工事等の技能競技会への支援事業を総括し、的確な事業の推進を行っている。</li> </ul>		○
<p><b>5. 事業予算及び決算の総括並びに経理責任者としての業務の統括</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経産大臣認可事項である事業予算、報告事項である決算の積み上げを指揮するとともに、常時、経理責任者としての的確な管理を行った。</li> <li>・受験者の利便性を図るため、受験手数料の入金方法として受験申込時郵便振込み、インターネット申込み時の銀行口座振込に加えクレジット決済、コンビニ・ペイジー決済を導入した。</li> </ul>		○
<p><b>6. 事業経営上の透明性の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札審査委員会等を活用した委託・外注案件の一般競争入札の維持を図っている。〔外注業務に占める競争入札の比率97%（金額ベース）〕</li> <li>・総括個人情報管理者としての受験者情報等の適切な保護を図っている。</li> </ul>		○
<p><b>7. 機械処理システム開発の総括</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受験申込から結果通知にいたる種々のデータ処理、帳票類の作成等の処理を行う機械処理システムの再開発の総責任者として、円滑及び適正に職務を遂行している。</li> <li>・現行の危機管理システムの不具合に伴う新危機管理システムの開発について、総指揮をとっている。</li> </ul>		○
<p><b>8. 電気事業法、電気工事士法他関係規制先との調整</b> 電気事業法・電気工事士法に基づく認可、経済産業省との指定機関に関する調整、内閣府との一般法人法に基づく法人監督に関する調整を総括している。</p>		○

\*評価者:代表理事